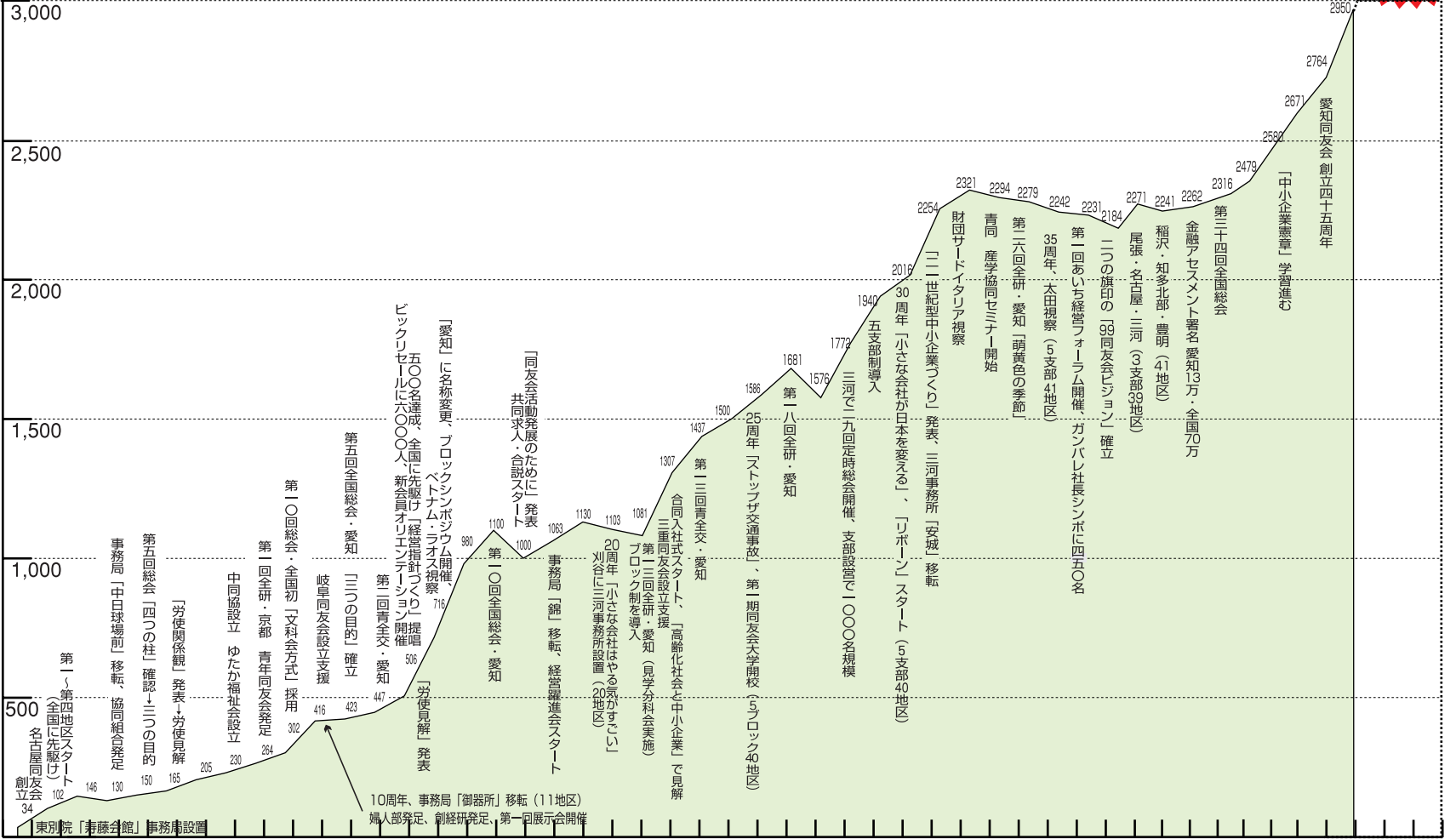


愛知同友会の活動と会勢の推移

3002名
(4月22日)

会員数



- 62 全国総合開発計画 閣議決定
- 63 中小企業基本法 公布
- 64 東京オリンピック開催
- 65 戦後の赤十字 発行決定
- 66 日本の総人口 億人を突破
- 67 初の革新都政誕生
- 68 シンクン大統領 「ドル防衛策」発表
- 69 新全国総合開発計画 (新全総)閣議決定
- 70 大阪万博開催 (ベンチャー)に注目
- 71 シンクン大統領 「ドル防衛策」発表
- 72 田中道産相 「日本列島改造論」発表
- 73 第一次オイルショック
- 74 産構造審議会 日本列島改造論の方向
- 75 不況対策 完全失業率百万人
- 76 中小企業事業転換法公布
- 77 税調「一般消費税 導入」を提言
- 78 門松 税調「ドルを制する」発表
- 79 大平内閣 税調「一般消費税 導入」を断念
- 80 「八〇年代中小企業 ビジョン」発表
- 81 臨時行政調査会(工敏夫 会長)初会合
- 82 ホルニューシャヤ火災 会合
- 83 中小企業庁 研究会設置
- 84 電電公社民営化
- 85 「95」開催、ドル高是正 プラザ合意
- 86 国鉄分割民営化法案可決 導入の動き
- 87 大塚間接税、売上税
- 88 規制緩和と要項閣議決定
- 89 消費税三%実施 総評解体、ベルリンの壁
- 90 牛肉・オレシ輸入自由化 「八八ブルバルク」発表
- 91 湾岸戦争、約七千億円
- 92 過去最大の増収策 「〇兆七千億円」発表
- 93 二月末就職減入(一)五万人
- 94 通産省「新市場創造 プロگرام」発表
- 95 阪神大震災、一ドル七円七角七銭
- 96 住専処理、金鐘六法成立
- 97 消費増税五%
- 98 金融監督庁発足 「三兆九千億円の経済対策」発表
- 99 大手一五行に資本注入 七兆四九二億円
- 二〇〇〇年 戦後初の「三三」局面に 二〇〇〇年
- 二〇〇一年 金融アセスメント着進成!
- 二〇〇二年 〇〇年4月から「三三」解禁
- 二〇〇三年 〇〇年4月「三三」解禁
- 二〇〇四年 〇〇年4月「三三」解禁
- 二〇〇五年 〇〇年4月「三三」解禁
- 二〇〇六年 〇〇年4月「三三」解禁
- 二〇〇七年 〇〇年4月「三三」解禁
- 二〇〇八年 〇〇年4月「三三」解禁
- 二〇〇九年 〇〇年4月「三三」解禁
- 二〇一〇年 〇〇年4月「三三」解禁
- 二〇一一年 〇〇年4月「三三」解禁
- 二〇一二年 〇〇年4月「三三」解禁
- 二〇一三年 〇〇年4月「三三」解禁
- 二〇一四年 〇〇年4月「三三」解禁
- 二〇一五年 〇〇年4月「三三」解禁
- 二〇一六年 〇〇年4月「三三」解禁
- 二〇一七年 〇〇年4月「三三」解禁
- 二〇一八年 〇〇年4月「三三」解禁
- 二〇一九年 〇〇年4月「三三」解禁
- 二〇二〇年 〇〇年4月「三三」解禁
- 二〇二一年 〇〇年4月「三三」解禁
- 二〇二二年 〇〇年4月「三三」解禁

愛知同友会創立四十五周年

「中小企業憲章」学習進む

第十四回全国総会

金融アセスメント署名愛知13万・全国70万

稲沢・知多北部・豊明(4)地区

尾張・名古屋・三河(3)支部39地区

二つの旗印の「99同友会ビジョン」確立

第一回あいち経営フォーラム開催、ガンバリ社長シンポに四五〇名

35周年、大田視察(5支部41地区)

第二六回全研・愛知「明黄色の季節」

青年 産学協同セミナー開始

財団サードティア視察

「二〇世紀型中小企業」発表、三河事務所「安城」移転

30周年「小さな会社が日本を変える」、「リボン」スタート(5支部40地区)

五支部制導入

三河で二九回定時総会開催 支部設置で二〇〇〇名規模

第一八回全研・愛知

25周年「又トップサ交通事故」、第一期同友会大学開校(5ブロック40地区)

第三回青全文・愛知

合同入社式スタート、「高齢化社会を中小企業」で見解

三重同友会設立支援

第三回全研・愛知(見学分科会実施) ブロック制を導入

20周年「小さな会社はやる気がすごい」刈谷に三河事務所設置(20地区)

事務局「錦」移転、経営選進会スタート

第一〇回全国総会・愛知

事務局「御器所」移転(11地区)

婦人部発足、創経研発足、第一回展示会開催

「愛知」に名称変更、ブロックシンポジウム開催

五〇〇名達成、全国に先駆け「経営指針」提唱

ベトナム・ラオス視察

第二回青全文・愛知

第三回青全文・愛知

第五回全国総会・愛知

「三三の目的」確立

岐阜同友会設立支援

第一〇回総会・全国初「文科会方式」採用

第一回全研・京都 青年同友会発足

中同協設立(ゆたか福祉会設立)

第五回総会(一四の柱)確認(三三の目的)

事務局「中日球場前」移転、協同組合発足

第一(第四地区)スタート(全国に先駆け)名古屋同友会

創立